

コメントシート

氏名	アグス・サルシト
職名	局長
団体名	林業省スマトラ地域林業発展推進センター
国名	インドネシア

団体の概要

沿革の概要： スマトラ地域林業発展管理局は、スマトラ地域における林業発展を推進するために設立され、林業省の各総局並びに州及び地方政府が関与している。

(構成員： 林業省は、数ある中でも、国連食糧農業機関 (FAO)、国際熱帯木材機関 (ITTO) の会員である。)

目的： 同センターの目的は、スマトラ地域の森林発展に対する最適な支援のために利用可能な資源を活用すること。

主な活動： (1)スマトラ地域のための森林計画の推進。(2)スマトラ地域の管理部門による実施の監督。(3)紛争解決の円滑化。

違法伐採問題に対する団体の基本方針及びその活動

森林資源が持続可能な開発にとって最も優れた資産であることから、持続可能な森林資源は、極めて重要である。インドネシアの森林に対する主な脅威として挙げられるのは、違法伐採とその違法伐採に関連する取引である。従って、違法伐採とその違法伐採に関連する取引に対処することが、2000年初頭以来、戦略的方針となっている。

違法伐採に対処するためインドネシアは二つの政策を実施している。一つは森林法の強化であり、二つ目はソフトアプローチと呼ばれる木材の合法性支援システム (IndoTLAS、インドネシア語で SVLK) の開発である。SVLK は森林法の強化を補完するものであり、森林法強化のみでは実績が上がらない。

トピック1 違法伐採問題に対する日本の取組の全般的評価

インドネシアでは、違法伐採とその違法伐採に関連する取引への撲滅に対し熱心に取り組み、インドネシア産木材及び木材製品の主要消費国のうちの一つである日本の等の協力が実を結びつつある。日本を含む輸入国にとっては、国内だけでなく地球規模で、違法伐採とその違法伐採に関連する取引の撲滅への取組を示す格好の時である。Goho-wood の取組が SVLK と結びつくことによって、日本における輸入木材の需要拡大へと導くことができるだろう。

トピック2 Goho-wood を背景とする違法伐採問題に対応する業界団体の活動の可能性

本業界は、木材製品のバリューチェーンの一部である。従って、違法伐採に対する取組への業界団体の関与は、極めて重要である。Goho-wood を背景とする違法伐採問題への対応に係る業界団体の活動として挙げられるのは、市場での合法的な木材の促進を支援するために緊密に連絡を取り協力することである。